



生涯に乳がんを患う日本人女性は、十一人に一人と言われます。乳腺の超音波検査を受ける人も増加しています。

超音波検査では、乳腺・乳房専用のエックス線撮影装置「マンモグラフィ」や触診では分からない段階の数ミリの小さなしこりも発見できます。超音波を送受信する「プローブ」を乳房に当てて動かし、本体の機器を操作して周波数などを

⑤3 乳腺超音波検査(臨床検査科)

調整。表面から深部まで画像に映し、しこりがあれば形や内容も観察して、良性か悪性かの判断の助けにします。

当院の機器には「エラストグラフィ」という、組織の硬さが分かる機能が搭載されています。悪性腫瘍は硬さがあることが多く、がん判別の精度を上げるのに役立っています。この機能を使うと、硬いしこりは青色で示されます。

乳がんは、女性が家庭



乳腺の腫瘍の硬さを色で示す機器＝名古屋市中区の中日病院で

や職場、社会で活躍する治ります。自覚症状がな
三十代後半から急激に増え、うちの検診が大切で
えます。早期に発見すれば、乳房を温存する治療
の可能性もあり、九割が

・談)

しこり 数ミリでも発見可



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院＝052(961)2491